

小学校 国語

●全国学力・学習状況調査の分析結果と課題

◆ 漢字を文脈に合わせて正しく読んだり書いたりすることについては、一部に課題

例) A1 漢字を読んだり書いたりする 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 ウ(ア)

(2) 勝利を
いわう。

(3) 勢いよく
走り出す。

県正答率
(3) 67.2%
(2) 56.9%

解答類型：漢字の書き（3）	反応率	正答
「いきお（い）」と解答	67.2	○
上記以外の解答	30.9	
無解答	1.9	

■分析結果と課題

● 主な誤答例は「いきよ（い）」

※正しい発音を理解すること、その読み仮名を正しく送り仮名を表記することに課題があります。

解答類型：漢字の読み（2）	反応率	正答
「祝（う）」と解答	56.9	○
上記以外の解答	35.3	
無解答	7.9	

■分析結果と課題

● 主な誤答例は「税」「岩」

※似たへんやつくり、同じ発音、部首、音訓、点画などについて正しく理解、文脈に合わせて正しく書くことに課題があります。

●指導改善のポイント

ポイント

漢字を文脈に合わせて正しく読んだり書いたりするとともに、実生活において適切に使えるようにする指導を充実させましょう。

授業

漢字を正しく読むこと・書くことの学習

文脈に合わせて適切に読んだり書いたりする学習（言葉集め、文づくり）

実生活

正しい読み方や書き方を日常的に確認する（音読、ノートや日記の指導）

間違いやすい漢字を取り上げて、適宜指導する
例) 「体育」（たいく→たいいく）
「雰囲気」（ふいんき→ふんいき）

3年上

へんとつくり

漢字には、右どまの二つの部分に分けられるものがあります。
次のカードに二まいで一組にして、漢字を作ってみましょう。どれどれを組み合わせてみる。知っている漢字になりますか。

言 文 斗 日

海 港

右の漢字は、どちらも、二つに分けたまがわに「し」という形があります。ほかにも、まがわに「し」をもつ漢字を集めてみると、波・浦・泳・泳ぐ・泳げる などがあります。水に関係のある漢字が多いことがわかります。

「し」は、「さんずい」といい、「水」という漢字が、ほかの字のまがわの部分になるなどの形です。そして、さんずいがついた漢字は、水に関係があります。

漢字のでき方やそれぞれの漢字のもつ意味を考えながら正しく使ったり、同音異義語の漢字を区別して使ったりすることができるようになります。

4年上

漢字の広場

「漢字の広場」を活用し、「ここにある漢字を3つ使って日記を書く」などの家庭学習も考えられます。

※国語辞典や漢字辞典を手元に置き、言葉や漢字の意味について確かめることを大切にしましょう。

●全国学力・学習状況調査の分析結果と課題

◆ 分かったことや疑問に思ったことを、条件に応じてまとめた文章にして書くことに課題

例) B² 分かったことや疑問に思ったことを整理し、それらを関係付けながらまとめて書く

[第5学年及び第6学年] C読むこと ウ B書くこと

「野口さんのまとめ」

■分析結果と課題

●分かったことや疑問に思ったことを、「二文を一文にして書くこと」「『例えば』という言葉を使って書くこと」という条件に応じてまとめた文章にして書くことに課題があります。

※次のような条件に応じて書く設問でした。

条件① 付箋③の内容について 部の二文を一文にする。

条件② 付箋④の内容について「例えば」を使って書く。

条件③ 100字以上、120字以内で書く。

これに対して、主な誤答は次のようでした。

- ・①②は満たしているが、③は満たしていない (1.3%)
- ・①は満たしているが、②は満たしていない (11.7%)
- ・②は満たしているが、①は満たしていない (12.6%)
- ・【原田さんのふせん】を基にして書くなどの上記以外の誤答 (45.3%)

わたしが、疑問に思った鼻は、においを感じ取るのか」ということについて分かった。
ゾウの鼻は、長いからにおいを感じ取ることができない。二、三キロメートル先のおいをかぎ分けるともいわれている。
すぐれた鼻を使うことで、

県正答率
22.8%

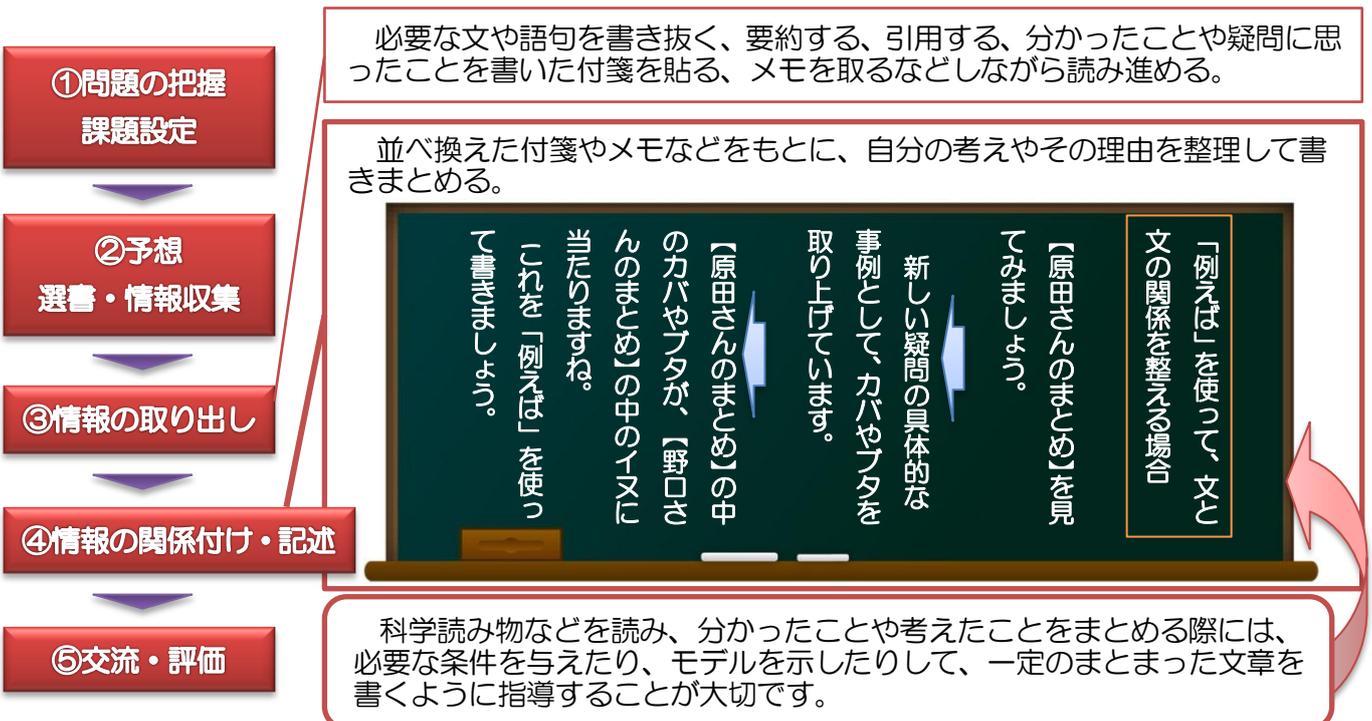
正答例

水場や食べ物をさがすことや、仲間を見つけることもできる。調べていくうちに新たな疑問も出た。においを感じ取ることにすぐれた動物とはどのような動物かということだ。例えば、イヌはどれくらい先のおいを感じ取るのか調べたい。(120字)

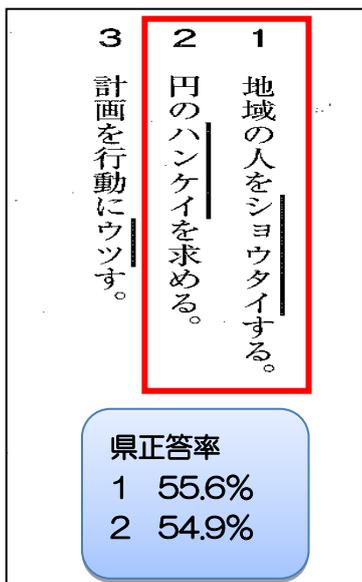
●指導改善のポイント

ポイント

目的や課題に応じて、分かったことや疑問に思ったことを関係付けながらまとめて書く指導を充実させましょう。



●全国学力・学習状況調査の分析結果と課題



◆文脈に即して漢字を正しく書いたり、読んだりすることについては、
一部に課題 例) A8 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)ウ

■正答
「招」は小学校第5学年、「待」は小学校第3学年で既習
「半」は小学校第2学年、「径」は小学校第4学年で既習

■分析結果と課題
・「招待」について、「招」を「紹」「召」としたり、「待」を「持」「対」としたりする誤答が見られました。
・「半径」について、「半」は比較的書けていますが、「径」は、「経」「形」などという誤答が見られました。
※字形が似ている漢字と混同したり、誤ったまま漢字を使っていたりしたものと考えられます。

●指導改善のポイント

ポイント1

学年別漢字配当表にある1,006字について、読んだり書いたりする機会を多くして習熟を図りましょう。



■教科書の巻末にある「付録」や「漢字の練習」を活用しましょう。

小学校で学習した漢字は、正確に書けるように練習しよう。特に、第6学年で習った漢字は、書き慣れるまで意識して使っていくように心がけよう。

■学年別漢字配当表に示してある1,006字の漢字は、他教科の学習や社会生活において使用することの多い漢字です。第3学年が修了するまでに、多様な語句の形で使ったり、様々な文脈の中で使ったりすることができるように指導しましょう。

ポイント2

漢字の語源の成り立ちについて教材研究を深め、漢字の面白さを伝えられるようにしましょう。

- 漢字の語源や成り立ちなどの教材研究を深め、「おもしろい!」という知的好奇心を引き出す授業を行いましょ。
- 分からない語句や漢字が出てきた場合は、そのままにせず辞書を使って調べる機会を意図的に設けましょ。
- 読書活動は漢字を身に付けるためにも効果的です。色々なジャンルの本が読めるようにはたらきかけましょ。



●全国学力・学習状況調査の分析結果と課題

◆複数の資料を比較して読み、目的に応じて要約したり、要旨を捉えたりすることについては、一部に課題

例) B2- 複数の資料を比較して読み、要旨を捉える〔第1学年〕Cイ

設問

接着剤について説明した文章と、接着剤に関するウェブページを取り上げ、書かれた内容を比較して説明している文を選択する。

解答類型	反応率	正答
1と解答しているもの	30.2	
2と解答しているもの	31.3	○
3と解答しているもの	33.5	
4と解答しているもの	4.3	
上記以外の解答	0.2	
無回答	0.5	

■分析結果と課題

- ・【本の一部】と【インターネットの情報の一部】について、共通してどのような内容が中心に述べられているか、的確に捉えられていないものと考えられます。
- ・【本の一部】と【インターネットの情報の一部】について、それぞれがどんな内容について述べているのか、よく吟味することなく読み進めてしまっていると考えられます。

県正答率
31.3%

●指導改善のポイント

ポイント3

複数の資料から、共通点や相違点を考えさせたり、目的に応じて要旨を的確に捉えさせたりする授業を行いましょう。

(1) 美術館の注意書きについて、〔資料1〕と〔資料2〕を比べてみよう。



〔資料1〕は文字だけで説明しているけれど、〔資料2〕はマークと文字で説明しているね。

〔資料2〕は、マークだけで伝わらない情報が補足されていることが分かります。



〔資料2〕のAのマークは、「カメラでの撮影は禁止」ということしか分からないね。だから、その横に情報を補足しているんだね。



(2) 〔資料2〕のBのマークに、どのような説明を補足したらよいか考えてみよう。

〔資料1〕美術館の注意書きの一部

作品を鑑賞する際には、次のようなことに注意してください。
著作権法上、作品の写真撮影は禁止です。また、フラッシュの使用は作品に悪い影響を与えます。携帯電話での撮影もご遠慮ください。
食べ物や飲み物が作品に付着するのを防ぐため、飲食は禁止です。ガムや飴を口に含んでの鑑賞もお控えください。変色やカビの原因となります。花束などの植物の持ち込みもご遠慮ください。

〔資料2〕マークを使った注意書きの一部

A 携帯電話での撮影もご遠慮ください。作品には著作権があります。

B

〔資料2〕のBのマークは、「飲食は禁止」ということは分かるけれど、〔資料1〕を読むと、それに関連してもう少し他の注意が書いてあるな。



それぞれから分かる情報を比較して整理することが大切です。では、〔資料2〕のBのマークに補足する説明を書いてみましょう。



■読む目的を明確にし、そのための効果的な読み方（「比べ読み」「速読」「摘読」「多読」等）ができるような指導をしましょう。

■第一学年では、レポートを作成したり、意見文を書いたりする言語活動が設定されています。その際、色々な資料を集め、その中から必要な情報が得られるような指導を行いましょう。また、左記のような学習を参考にしましょう。